

## 令和8年度第1回運営推進会議報告内容

### 議題

#### ① 職員配置状況について

- R8.4.1 看護師 1名 地域包括支援センターに異動。
- R8.4.1 介護職員 1名 訪問介護水戸事業所に異動。
- R8.5.16 介護職員 1名 ひらのテラスに入職予定。

#### ② 入居状況について

##### 入居状況

令和8年5月1日時点の入居者数

男性 2名 女性 7名 合計 9名

平均年齢 85歳 男性 76歳 女性 87歳

平均介護度 2.7 男性 3.5 女性 2.4

#### ③ ヒヤリハット、事故、苦情報告などについて

3月（前回推進会議以降） 事故報告 2件 ヒヤリハット 2件

4月 事故報告 1件 ヒヤリハット 1件 物損報告 1件

5月 事故報告 3件 ヒヤリハット 0件

3/16 13:37 T. H様 女性 87歳 事故報告

リビングからウッドデッキ側の外を見ると、ベランダの敷石に転倒されているT. H様を発見しました。事情をうかがったところ、「トイレに行こうと思った」との返答がありました。スタッフ2名で身体を起こしリビングへ誘導しました。右腰と臀部にかけて痛みの訴えがあり全身確認。頭部・背中・胸・両足・臀部・腰部確認し赤み、傷、腫れなどは見られませんでした。

昼食後ベッドで休まれておりましたが、トイレへ行こうと思いき、トイレではなく居室ドアを開け、そのまま廊下のデッキ側サッシの鍵を開けて外に出ってしまったようです。カメラ録画でその様子を確認できました。

原因として、ベッドセンサーへの意識が甘かった事、廊下のサッシの鍵をひとつしかかけていなかった事があり、廊下のサッシ鍵を2重ロックにするとともに、ベッドセンサーを意識する為に、以下周知いたしました。

- ① テラス携帯電話の見守りスキャンアプリを起動し、携帯電話からも警告音が鳴るようにする。
- ② リビングに最後にいるスタッフがリビングを離れる際には、iPadや携帯電話を所持する。
- ③ リビングに2人以上のスタッフがいる際に、センサーが作動したら、スタッフ間で何号室のセンサーが作動したかを報告しあう。

3/16 18:50 H. H様 女性 76歳 ヒヤリハット報告

口腔ケアの際、口腔スポンジ使用後口から出すと、先のスポンジが無くなっていました。他スタッフへ声掛けを行い、口の中を開けて確認すると右下の歯の横にスポンジが挟まっていたので、取り除きました。何度か使用していたスポンジの劣化によるものだと思われました。

スポンジを使用する前には都度劣化の状況を確認し使用していく事としました。

3/17 6:05 Y. K様 男性 74歳 ヒヤリハット報告

スタッフが朝食を準備する間、Y. K様はリビング席に座られていましたが、その場から立ち上がり床やベンチに寝そべるなど注意が散漫な様子が見られていました。その後、独り言を言いながらパソコンデスクの前のベンチで両腕を頭の下に組んで仰向けに寝ていたところベンチから転落されてしまった。同時にパソコンデスクも倒れパソコンも床に落ちてしまいました。

ベンチに横になった時点でベンチから離れていただく事ができなかったが、ベンチやソファで横になる事が無いよう、再確認を行いました。

3/29 12:30 Y. K様 男性 74歳 事故報告

食事介助中、急に立ち上がり振り向きざまに歩き出されましたがすぐに倒れ込み窓ガラスに顔を強打してしまいました。前頭部付近に腫れはありませんでしたが赤みがあり様子を観察いたしました。

原因として、立ち上がり走る状況ではなかった為、少し様子を見てしまい近くにいた看護師に対応を任せてしまったこと、また歩き出した際はすぐに付き添い様子を見守る事を再確認しました。

4/4 12:40 M. K様 女性 82歳 物損報告

食洗器内でM. K様の茶碗を割ってしまいました。食洗器内にM. K様の茶碗が一番上にあり、他の利用者様のコップを入れた際にコップを10cmの高さから落としてしまい茶碗が割れてしまった為、ご家族に電話にて事情を伝え謝罪いたしました。

弁償させていただくことをお伝えいたしました。茶碗は家に沢山あるので買わなくていいと返事を頂きました。

4/14 12:47 T. H様 女性 87歳 ヒヤリハット報告

リビングからウッドデッキ側の外を見ると、ベランダにT. H様の姿を発見いたしました。廊下のサッシ、二重ロックを開けて外に出ていかれ、その後他の利用者様の洗濯物をハンガーのまま自室へ運ばれる姿が録画で確認出来ました。

た。

「衣類をお嫁様に持っていかれた。」「お金や通帳をリュックに全部詰めていかれた」と興奮された様子で訴えられました。

廊下のサッシを二重ロックでかけていましたが、T. H様が開けてしまった。残りのスタッフがリビングで他利用者2名対応しており、センサー音が聞こえなかったとの反省がありました。

ベッドセンサーを意識する為に、iPadをスタッフの目の前に置き、目視出来るようにする事、センサー音も気にかけておくように再度周知しました。

#### 4/21 6:50 H. H様 女性 76歳 事故報告

朝食介助時、魚を食べ終わった後に水分を飲んでいただいたところ、喉に詰まってしまうました。唇チアノーゼが見られ、すぐにスタッフが指を入れて口の中を確認しタッピングを行いました。その後、咳き込みがあり、痰絡みで言葉を何か話され、チアノーゼが治まりました。

原因として、魚がパサついていたのか、魚を飲み切れなかった後に、口の中を確認せず水分を飲ませてしまいました。

ソフト食をお出ししておりますが、味噌汁や水分などで柔らかさを調整しながら食事介助を行う事、食事を飲み込むのを確認してから水分補給を行う事を再確認しました。

#### 5/6 5:20 M. H様 女性 92歳 事故報告

5:20頃訪室するとベット上で着替えをされていた。自室内の椅子にパンツと股引きが干してあった為確認すると「トイレから出た後、左膝がピクっとなって左膝をついてしまった」と話されました。

左膝を確認すると発赤はありませんでしたが少し膨れている様子があり、左膝数カ所を少し押すと痛みがあるとの事で本人持参してある湿布薬を左膝に貼りました。

以前、夜間トイレで膝をついてしまった際、M. H様に夜間トイレの際の付き添いを行うか意向確認を行いました。が、「夜のトイレに不安が無いとも言えないが、今のところは大丈夫。職員さんがトイレの際に関わってくれると言ってくれているが、もう少し様子をみたい」とのお話があり。

今回も意向確認した際に「まだ大丈夫」とのお話はありませんでしたが、トイレの際の起上、移動の付き添いのみを行う事で様子を見ていく事としました。

#### 5/6 18:11 M. K様 女性 82歳 事故報告

他の入居者様で夕食を遅く召し上がられる方がおり、お膳をテーブルへセットしましたが、スタッフがそれぞれ他の入居者様を対応している間に、M. K様が他の入居者様の漢方薬を混ぜたスプーンでおかずを召し上がっている所を

ラウンジに戻ってきたスタッフが発見しました。

声かけ、様子を確認しましたが特に変わりはなく、血圧、体温、血中酸素などの数値にも異常は見られませんでした。

原因として、お膳をセットしてリビングから離れてしまい、誰もいなくなってしまう事。

スタッフが一人でもリビングに居る状況で食事を提供する事を周知しました。

5/13 1:16 T. H様 女性 87歳 事故報告

ベッドセンサー離床検知あり、訪室するとベッド横でベッドを背にして尻もちをついているところを発見しました。

右臀部付近が少し痛いとの訴えあり、身体確認いたしました。赤みや腫れ、出血などはございませんでした。

事情をうかがいましたが、「覚えていない」との事でした。タオルケットがベッドから床にかけて落ちており身体の下敷きになっておりました。

トイレに掛かっていたかと排尿があった。トイレに起きようとした為ではないかと思えます。

これまでに T. H 様がトイレに起き、スタッフが訪室した際タオルケットや毛布が足元に絡まっている事があった為、起きる側とは反対側のマットレス下にタオルケットや毛布を挟み込み様子を見ていく事としました。